

第4学年 国語科指導案

日 時：令和元年10月9日（木）5校時
場 所：清水小学校 4年生教室
授業者：松浦 茉莉

1 単元名 読んで考えたことを話し合おう/ごんぎつね

2 単元の目標

本単元に関わって、学習指導要領には、次のように述べられている。

C 読むこと
(1) エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること。
オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。
カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。
B 書くこと
(1) ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。

3 本時の場面について

本時扱う第3場面は、ひとりぼっちになった兵十に対して、主人公のごんが償いをする場面である。最初は、ごんは「ぬすんだいわし」を兵十に届けたが、翌日いわし屋にひどい目に遭わされたことを知り、「自分で拾ったくりや松たけ」を何日も届けるようになる。

ごんが「ぬすんだいわし」から「自分で拾ったくりや松たけ」に変えた行動の変化を含め、兵十に対する思いの寄せ方にも着目できるように、深めの発問を通して児童に考えさせたい。そのため、深めの発問を次のようにすることとする。

ごんの気持ちはどう変わっていったらうか。

4 研究内容に関わって

(1) 研究内容Ⅰ「つけたい力を明確にした単元指導計画の工夫」

つけたい力「豊かな表現力」は、3領域「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の場面でそれぞれ育成できると考える。そのため、領域ごとに「終末の場面」できよみずガエル君を次のように活用することができると思う。

領 域	きよみずガエル君の発問例（中学年の場合）
A「話すこと」	話すときに、相手に伝わるように工夫したことは何かな。
A「聞くこと」	聞くときに大切にされたことは何かな。
B「書くこと」	書き表すときに工夫したことは何かな。
C「読むこと」	登場人物の行動や気持ちの変化から、感じたことは何かな。

なお、本時は「読むこと」領域に重点を置くため、「ごんの行動や気持ちの変化から感じたことは何かな」とする。

(2) 研究内容Ⅱ「豊かな表現力を身に付けるための学習過程の工夫」

第3ブロック「深める」

自己の考えを伝え合うためのグループ交流の設定

本時、深めの発問の場面で、グループ交流を設定することとする。その理由は次の2つである。

第一に、グループ交流を行うことで、児童同士の対話が必然となる。全体交流での教師-児童のみのやりとりだけに終始することなく、グループ交流を位置付けることで、児童一人一人が自己の考えを表現する場面が多くなるのが期待される。また、叙述から読み解くことが難しい場面での交流により、児童のより一層の豊かな表現力の育成が期待できると考える。

第二に、単に交流するだけでなく、グループ交流した内容を画用紙にまとめ発表することをグループ交流の条件とする。これにより、自分の考えを一方向的に話すだけでなく、互いに考えを理解し合い、それらをまとめていく必然が生まれる。よって、自己の考えを伝え合い、豊かな表現力が育成されることが期待される。

5 単元指導計画 第4学年 「読んで考えたことを話し合おう/ごんぎつね」 全14時間 A：知識及び技能 B：思考力，判断力，表現力等 C：学びに向かう力，人間性等

単元	単元のきよみずガエル君 ・ごんの行動や気持ちの変化から，感じたことは何かな。(読) ・書き表すときに工夫したことは何かな。(書)				
次	1		2		
時	1・2	3・4	5・6	7 (本時)	8
ねらい	学習の見通しをもち，「物語を読み，考えたことを話し合う」という学習に意欲を持つことができる。また，物語を読んで感想をもつことができる。	「1」の場面について，叙述をもとに，ごんの行動について気持ちを想像しながら読み取ることができる。	「2」の場面について，「1」の場面とのつながりやごんの気持ちの変化を想像して読み取ることができる。	「3」の場面について，ごんの気持ちの変化したことを行動や情景描写から想像し，読み取ることができる。	「4」の場面について，登場人物の行動や情景をもとに読み，ごんの気持ちの変化を読み取ることができる。
学習活動	<p>1. 課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「ごんぎつね」を読んで，感想をもとう。 学習の見通しをもとう。 </div> <p>2. 「ごんぎつね」を読み，初発の感想を書く。</p> <p>3. 感想を発表し合う。</p> <p>4. 難語句や民話風な世界を表す言葉の意味を調べる。</p> <p>5. 学習の見通しをもつ。</p>	<p>1. 学習計画をもとに「1」の場面に書かれている内容を確認する。</p> <p>2. 課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> いたずらをしているごんの気持ちを読み取ろう。 </div> <p>3. 「1」の場面を音読し，一人読みをする。</p> <p>4. 読み取った内容を全体交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ごんはどうしていたずらばかりするのだろう。 </div> <p>5. グループ交流をする。</p> <p>6. 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ごんはひとりぼっちで森の中に住んでいるから，友だちがほしくていたずらをしていたのではないだろうか。 </div> <p>兵十のごんに対する気持ちについても確認しておく。</p>	<p>1. 学習計画をもとに「2」の場面に書かれている内容を確認する。</p> <p>2. 課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 兵十のおっかあが死んだ時の兵十とごんの気持ちを読み取ろう。 </div> <p>3. 「2」の場面を音読し，一人読みをする。</p> <p>4. 読み取った内容を全体交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ごんはあなの中でどんなことを考えていただろう。 </div> <p>5. グループ交流</p> <p>6. 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 自分がいたずらをしてしまったせいで兵十のおっかあはうなぎを食べられずに死んでしまったのではないかと思っている。いたずらを後悔している。 </div>	<p>1. 前時までの振り返りをもとにこれまでの場面を想起する。学習計画をもとに「3」の場面に書かれている内容を確認する。</p> <p>2. 課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 兵十につぐないをするごんの気持ちを読み取ろう。 </div> <p>3. 「3」の場面を音読し，一人読みをする。</p> <p>4. 読み取った内容を全体交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ごんの気持ちはどう変わっていったらうか。 </div> <p>5. グループ交流</p> <p>6. 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> いわしを持って行ったとき，「まず一つ，いいことをした」と思っていたが，ごんがぬんだものだったために，兵十はひどい目にあってしまった。それを反省し，次の日から何度も自分が集めたくりや松たけを持っていくようになった。 </div>	<p>1. 前時までの振り返りをもとにこれまでの場面を想起する。学習計画をもとに「4」の場面に書かれている内容を確認する。</p> <p>2. 課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 兵十と加助の話の聞いているごんの気持ちを読み取ろう。 </div> <p>3. 「4」の場面を音読し，一人読みをする。</p> <p>4. 読み取った内容を全体交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ごんはいどのそばにしゃがんでどんなことを考えていただろう。 </div> <p>5. グループ交流</p> <p>6. 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ごんが毎日届けているくりや松たけに兵十は気づいていた。兵十はどう思っているか気になっている。 </div>
評価規準	「物語を読み，考えたことを話し合う」という学習を理解し，意欲をもっている。また，物語に興味をもって範読を聞き，自分なりの感想をもっている。 (発言・ノート)【C】	「1」の場面について，ごんや兵十の行動と気持ちを読み取っている。 (発言・ノート)【B】	「2」の場面について，「1」の場面とのつながりやごんの気持ちの変化を読み取っている。 (発言・ノート)【B】	「3」の場面を読み，ごんの行動に表れた気持ちの変化を読み取っている。 (発言・ノート)【B】	「4」の場面読み，兵十と加助の会話を聞くごんの気持ちを読み取っている。 (発言・ノート)【B】
並行読書	新美南吉の作品 「手ぶくろを買いに」 「でんでんむしのかなしみ」 「木のまつり」 「がちょうのたんじょうび」				

5 単元指導計画 第4学年 「読んで考えたことを話し合おう/ごんぎつね」 全14時間 A：知識及び技能 B：思考力、判断力、表現力等 C：学びに向かう力、人間性等

単元	単元のきよみずガエル君 ・ごんの行動や気持ちの変化から、感じたことは何かな。(読) ・書き表すときに工夫したことは何かな。(書)			
次	2		3	4
時	9	10	11	14
ねらい	「5」の場面について、登場人物の行動や情景をもとに読み、ごんの気持ちの変化を読み取ることができる。	「6」の場面を読み、ごんと兵十の気持ちの変化や関係の変化について捉えることができる。	「ごんぎつね」を読んで考えたことを話し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気づくことができる。	文章を読んで考えたことを交流し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気づくことができる。
学習活動	<p>1. 前時までの振り返りをもとにこれまでの場面を想起する。学習計画をもとに「5」の場面に書かれている内容を確認する。</p> <p>2. 課題を設定する。</p> <p>兵十と加助の話の続きを聞いているごんの気持ちを読み取ろう。</p> <p>3. 「5」の場面を音読し、一人読みをする。</p> <p>4. 読み取った内容を全体交流する。</p> <p>どうして「つまらない」んだろう。</p> <p>5. グループ交流</p> <p>6. 本時のまとめをする。</p> <p>ごんは、兵十のかけぼうしを踏めるぐらい近づいて話を聞きたかった。自分がやっていることを神様のしわざと思われ、面白くない気持ちでいる。</p>	<p>1. 前時までの振り返りをもとにこれまでの場面を想起する。学習計画をもとに「6」の場面に書かれている内容を確認する。</p> <p>2. 課題を設定する。</p> <p>くりを持ってきていたのがごんだと知った兵中の気持ちと、兵十にうたれたごんの気持ちを読み取ろう。</p> <p>3. 「6」の場面を音読し、一人読みをする。</p> <p>4. 読み取った内容を全体交流する。</p> <p>ぐったりと目をつぶったまま、うなづいたごんは、どんなことを思っているだろう。</p> <p>5. グループ交流</p> <p>6. 本時のまとめをする。</p> <p>兵十がやっと気づいてくれたうれしさと、友だちになれず死んでいくことのさびしさ等、いろいろなことを思った。</p>	<p>1. 課題を設定する。</p> <p>「ごんぎつね」を読んで感じたことや考えたことを話し合おう。</p> <p>2. 学習後の感想を書き、初発の感想と比べる。</p> <p>3. グループで感想を交流し、何について話し合うか決める。</p> <p>4. テーマごとに自分の考えをまとめる。</p> <p>5. 互いの考えの共通点や相違点に気をつけながら、グループで話し合う。</p> <p>6. 話し合いで深まった考えを報告し合い、読みを深める。</p> <p>7. 学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p>	<p>1. 課題を設定する。</p> <p>読んで考えたことをもとに、続き話を書き、友だちと発表し合おう。</p> <p>2. 続き話を書く。</p> <p>3. 友だちが書いたものを読み合い、よかったところを伝え合う。</p> <p>4. 学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p> <p>1. 課題を設定する。</p> <p>新美南吉の他の作品を読んで感想を書き、交流しよう。</p> <p>2. p28「たいせつ」を読む。</p> <p>3. 学習の流れを確認する。</p> <p>4. 新美南吉の他の作品を読み、感想を書く。</p> <p>5. 書いたものを交流する。</p> <p>6. 単元の学習を振り返り、まとめる。</p>
評価規準	「5」の場面読み、兵十と加助の会話を聞くごんの気持ちを読み取っている。(発言/ノート)【B】	「6」の場面を読み、ごんを撃つまでの兵十の気持ちや、ごんを撃つときの気持ち、倒れているごんの気持ちを想像して読み取っている。(発言/ノート)【B】	根拠を明確にして話し合い、一人一人の感じ方や考え方の違いに気づいている。(発言/ノート)【C】	書いたものを読み返し、よりよい表現になるよう、推敲している。また、書いたものを友だちと読み合い、よさを伝え合っている。(発言/ノート)【C】
並行読書	新美南吉の作品 「手ぶくろを買いに」 「でんでんむしのかなしみ」 「木のまつり」 「がちょうのたんじょうび」			

6 本時の展開

1 本時のねらい 「3」の場面について、ごんの気持ちが変化したことを行動や情景描写から想像し、読み取ることができる。

2 本時の展開

①単元のきよみずガエル君 ・ごんの行動や気持ちの変化から感じたことは何かな。(読) ・書き表すときに工夫したことは何かな。(書)

第3ブロック

第2ブロック

第1ブロック

⑦前時までの学習の振り返り
 ・ごんは、いたずらばかりする小ぎつね。さびしいから兵十のおっかがあが死んだ。
 ・自分(ごん)がやったことを後悔している。

⑧つかむ
 ・ウナギのつかないをするために、(ぬすんだ)いわしを兵十に持って行く。
 ・くりや松たけを次の日も、その次の日も兵十のところに持って行く。

⑤課題
 兵十につぐないをするごんの気持ちを読み取ろう。

⑥深める(読み取る)
 ・ひとりぼっちになった兵十は、おれと同じだ。
 ・「物置の後ろからみていたごん……兵十が気になりこその見ている。」
 ・「かごの中から五、六匹のいわしをつかみ出して……うちのなかへいわしを投げこむ……うなぎのつかないは、まず一つ、いらぬことをした。」
 ・「次の日はくりやをぶつかり拾って、それをかかえて兵十のうちへ行く……二つめのつかないは、兵十の様子に気がなる。」
 ・兵十のほつたのかすりきず「いわしやにぬすびととまちがわれた」
 ・「これは、しまった。」「つかないを拾ったつもりが……」
 ・「次の日も、その次の日も、くりやを拾ってはもっていった。その次の日には、松たけも二、三本持って行った。」

②深めの発問
 ・ごんの気持ちは、どう変わっていったらう。
 (グループ交流)
 ・ぬすんだもの(いわし)をあげてもつかないにはならないことに気付いたから、くりや松たけを自分で拾い集めたのだらう。
 ・次の日も、また次の日も持って行ったのは、うなぎのつかないと、いわし屋にひどい目にあわされたつかないだらう。
 ・おっかがあが死んでさびしい思いをしていないか気になるから様子を見に行っていたらばっかりしていたごんが、つかないの方法を考えるようになって成長したな。

③まとめ
 いわしを持って行ったとき、「まず一つ、いいことをした」と思っていたが、ごんがぬすんだものだったため、兵十はひどい目にあってしまった。それを反省し、次の日から何度も自分が集めたくりや松たけを持っていくようになった。

④振り返り(きよみずガエル君)
 ・ひとりぼっちになった兵十のことが気になるのは、自分と重なるからだらう。いたずらばかりしていたごんが、つかないの方法を考えるようになって成長したなと思った。

- ・「ごんの気持ちは、どう変わっていったらう。」という深めの発問を通して、ごんがつかないの方法を考えるようになったことや、兵十に対する思いの寄せ方に着目し、ごんの変化について話し合う場(グループ交流)とする。
- ・グループ交流は、一人一人が自己の考えを表現する場として仕組む。
- ・グループで交流し合った内容を画用紙にまとめる際は、端的にキーワードで記入する。

- ・ごんの行動や気持ちが分かる叙述や情景描写に着目し、そこから想像したことをノートに書き込む。

- ・1 場面は掲示やノートを元に想起する。
- ・2 場面は意図的指名した児童のまとめを元に想起する。
- ・本時(3場面)はどんな場面かを、初発の感想を元に作った学習計画表から確認し、課題化へつなぐ。

並行読書

新美南吉の作品

「手ぶくろを買いに」

「でんでんむしのかなしみ」

「木の祭り」

「がちょうのたんじょうび」